※令和３年度以前入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史　改訂版」　（山川出版）						
副教材等	アカデミア世界史(浜島書店) 山川世界史一問一答(山川出版社)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の歴史に関する基本的事項を正確に理解した上で、歴史の流れの中での人間の営みを捉え、現代社会を理解し問題を解決する力の基礎をつくる。
・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に対して「なぜ」という考えを持つ。
・世界史を学ぶ中で、現在の日本のあり方を考え、成立過程を知る。

２　学習の到達目標

・世界の歴史を地理的条件や、日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に生きる上で必要な知識と歴史的教養を養う。
・古代～中世における世界の課題の成立過程を学び、今後の世界のあり方を考える。
・諸資料に親しみ、歴史的判断力を培う。
・事象に対しての、原因と結果を歴史的視点から考察することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	古代～中世を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、なぜそうなったかを意欲的に考察する。	古代～中世社会の諸課題を、現在の世界を踏まえながら考察し、公正な判断力を持ってその過程や結果を適切に表現している。	古代～中世の歴史に関する諸資料を活用し、必要な情報を読み取り、表にまとめ、発表できる。	古代～中世における世界の基本的な出来事を、歴史的条件はもちろん、地理的・日本との歴史、現在の世界と関連付けながら理解し知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 振り返りシート	定期考査 ワークシート 発表 グループワーク	定期考査 ワークシート 発表 グループワーク	定期考査 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	諸地域世界の形成1.	・先史の世界 ・オリエントと地中海世界 ・アジア・アメリカの古代文明 ・東アジアの形成	 ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ 	 ○ ○	a: 各文明の特質を認識し、それが次の時代にどのようにつながるのかを考察し理解を深めようとしている。 b: 人類の進化にともなう文明の発生と農耕・牧畜の開始との関連をどのようにとらえ、考えればよいのか、史料をもとに適切に表現している。 c: 世界史の諸課題について理解するとともに、史料から有用な情報を適切に選択して効果的に活用している。 d: 各文明の特徴・しくみ・他地域との関連性を身につけている。	定期考査 ワークシート
	ヨーロッパ・アジア世界の形成	・ヨーロッパ世界の形成 ・内陸アジア世界 ・東アジア世界の展開	○ ○ 	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a: イスラム世界とヨーロッパ世界との関係について、宗教的な面のみならず、経済的・政治的に興味を持ち、深く追求し、学習した内容と合わせて、世界の歴史の大きな流れについて、深く関心をもち、それぞれの時代について積極的に考えようとしている。 b: 学習で得た知識・技能を活用して諸史料をもとに考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界史の諸課題について理解するとともに、史料から有用な情報を適切に選択して効果的に活用している。 d: イスラム世界とヨーロッパ世界のそれぞれの特徴・成り立ちの関係について的確に理解している。内陸アジアにおける民族間の関係や外部とのかかわりについて理解し、その知識が身に付いている。	

※令和３年度以前入学生用

2学期	アジア・ヨーロッパの発展	・アジア世界の繁栄 ・ヨーロッパ世界の発展	○ ○	○ ○	○	 ○	a: アジア・欧州における国民国家成立の過程について、その過程や原動力について興味・関心を持ち意欲的に考察することができる。 b: アジア・欧州における国民国家成立の過程について、具体的な史実にもとづき史料や地図・図版などにより表現し、公正な判断を用いて考察することができる。 c: 世界史の諸課題について理解するとともに、資料から情報を得て活用することができる d: アジア・欧州における国民国家成立の過程について正しい知識を持ち、理解している。 a:ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	定期考査 ワークシート
	ヨーロッパ世界の拡大と大西洋世界	・世界の一体化の第一歩 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制 ・アジアの繁栄 ・世界経済体制の形成	○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ 	 ○ ○	b:設定された時代の諸地域の特質を見いだし、世界商業の進展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身に付けている。	
	ヨーロッパ・アメリカの変革と国民国家の形成	・イギリス産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ 	a:18 世紀後期以降の諸地域世界の様子について、新たな社会の成立、に対する関心を高める。 b:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌の特質を見いだし、その過程や結果を適切に表現している。 c:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し図表などにまとめたりしている。 d:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	

※令和３年度以前入学生用

3学期	二つの世界大戦	・激変する社会と帝国主義 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・戦間期のヨーロッパとアメリカ ・民族運動の高まり ・第二次世界大戦	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○	a:19 世紀末から 20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:20 世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート
	第二次世界大戦後の世界と日本	・冷たい戦争 ・アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 ・多極化の進展と冷戦体制の崩壊 ・現代の世界	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ 	a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている b:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第二次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。